様式２

令和５年度 座間支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
１．法令遵守意識の向上（わいせつ事案等公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	・わいせつ事案等公務外非行の防止を徹底する。 ・円滑なコミュニケーションを工夫する。	・わいせつ事案等公務外非行と処分報道を周知するとともに不祥事防止研修会を少人数で行うことで当事者意識が高まり、コミュニケーションの円滑化が進んだ。
２．職場のハラスメント行為（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	・児童生徒や職員の人権を守り、適切な指導の徹底を図る。	・「同僚性の向上」」をテーマに、少人数での協議をフリートーク形式で行ったり、掲示板記入で行ったりすることで、相互の考え方を尊重する意識や職場の連帯感につなげた。
３．体罰・不適切な指導の防止	・児童生徒の実態をおさえた、体罰によらない適切な指導を徹底する。 ・児童生徒の人権を尊重した指導を実施する。	・「人権を意識した児童生徒へのかかわり」をテーマに各学部、学年等少人数で不祥事防止研修会を実施することで、人権に配慮した指導の在り方について意識の共有が進んだ。
４．成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	・個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理する。また誤配付など事故防止を図る。	・「ゆとりを生み出す業務改善」をテーマに、事故防止の具体的な方策を検討・共有するとともに、ヒヤリハット事例を発信することで意識の向上とシステム改善につながった。
５．個人情報の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	・全員対象の研修会を実施し個人情報管理の規則遵守を改めて確認した。情報の重要度とそれに応じた取扱いについて徹底できた。
６．交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運防止、交通法規の遵守	・交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	・職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止に向けた意識向上につなげるとともに、コロナ5類移行後は、休業前などにアナウンスを行い、コンプライアンス意識を高めた。
７．私費会計に係る事故防止	・現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する。	・「ゆとりを生み出す業務改善」をテーマに、改めて事故のない会計システムへの改善を行い学校全体で確認した。
８．人権意識の向上	・人権意識を高める	・「人権を意識した児童生徒へのかかわり」をテーマに各学部、学年等少人数で不祥事防止研修会を実施するとともに、外部講師による人権研修会等を実施し、意識を高めた。

○　令和５年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和６年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

前年度に引き続き不祥事ゼロプログラムの年間テーマを「人権に配慮した児童生徒への関わり」「ゆとりを生み出す業務改善」「同僚性の向上」とし、今年度は不祥事防止会議、不祥事防止研修を少人数でのフリートーク形式や掲示板への書き込みと共有、その意見への「いいね」シールの貼り付け等、当事者意識と同僚性の向上を図った。お互いの意見を共有することで、さらに不祥事防止意識の向上が図られ、プログラムはおおむね達成できた。次年度も引き続き３つのテーマでゼロプログラムを進め徹底を図りたい。